

# あったかトーク

第40号 2022年春号

**ひぐちのりこ事務所**  
(青葉区版)  
発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士 保育士  
社民フォーラム市議団  
●総務財政常任委員会  
●文化芸術・スポーツ振興 調査特別委員会 副委員長  
●議会運営委員

## 新年度施策の柱は

# 「世界に誇る魅力と活力を生み出すまちづくり」 「多様な視点から一人ひとりの活躍を 支えるまちづくり」

2022年第1回定例市議会は、2月8日から3月14日の日程で行われ、一般会計予算や条例改正案など計79件の議案審査が行われました。

郡市長から施政方針の表明があり「防災力に磨きをかけ、世界を視野に、新たなまちづくりのステージへの扉を開いた」ことが基調に掲げられました。

主な施策として、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合化、大手門復元など仙台北城跡の整備、東北大学との連携によるスーパーシティ構想の推進などを掲げました。

人の活躍こそがまちを育むという考えの下、市民が活躍できる環境づくりや孤立や貧困、引きこもりなど、困難を抱える方々への支援などに取り組む決意を示しました。

### 過去最大の当初予算

仙台市2022年度の一般会計は、コロナ禍におけるワクチン接種費や医療提供体制にかかる国庫支出金の大幅増および、緩やかな景気回復が見込まれ、法人市民税、固定資産税の増加などで対前年度比2.9%増の約5,929億円という過去最大規模の当初予算となりました。

特別会計は約3,151億円、企業会計は約2,296円で、総額1兆1,376億円となり、11年連続の1兆円超えとなりました。

### 小学校4年まで35人以下学級を拡大

改正案では、新型コロナウイルス感染症対策のための保育所職員、35人以下学級を小学4年生まで拡大するため、教職員等144人を増員するための職員定数条例の改正案、市立病院に腎臓内科を新設する案などが上程されました。

国の補正予算に対応して、引越しワンストップサービス対応の住民情報システム運用経費、保育士、放課後児童支援員等の処遇改善の補助金などが計上されました。

### 追加補正で中小事業者への事業継続等支援

新型コロナウイルスの影響で売上が大きく減少した中小事業者の事業継続等の支援のため、国の事業復活支援金受給者に上乗せして中小企業等事業復活支援給付金が提案されました。また昨年末に支給決定した子育て世帯への臨時特別給付金(10万円)について、昨年9月以降の離婚などで届かなかった支給対象者への支給についても提案されました。

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する件」決議が採択されました。



3月8日国際女性デーの日、社民フォーラム市議団は「ミモザのコサージュ」で気合を入れました。

### 予算等審査特別委員会で副委員長を担いました

第4回定例会では、来年度の予算の審査をする、予算等審査特別委員会が2月24日から3月10日まで開かれ、会計ごとに38件の議案の質疑が行われ、すべて承認されました。ひぐちのりこは副委員長に選任され、正副委員長交代により経済費、土木費などの審査において4回委員会の進行をいたしました。



●味の素 勝山公園 北四番丁駅  
石井屋 ● 二日町北四番丁

↑泉方面  
●七十七銀行 中江→  
丸信精肉店  
河北仙販

ひぐちのりこ事務所

上杉山通小学校 ● 上杉山通小学校前

**ひぐちのりこ事務所**  
〒980-0011  
仙台市青葉区上杉3丁目9-31  
プリマヴェーラ杜王101  
TEL.022-398-8171  
FAX.022-398-8172  
セブンイレブン側からお入り下さい。  
お気軽にお立ち寄り下さい!

# ひぐちのりこ 東奔西走!

## 1月24日 みやぎ女性議員のつどい研修会

仙台市内のNPO法人「キミノトナリ」の東田美香代表理事による「にんしんSOS仙台の現場から」の講演が行われ、県内の女性地方議員35人が参加しました。キミノトナリは妊娠や出産に関する助産師や、弁護士、社会福祉士など有資格者での相談や支援をはじめ、行政や医療機関等につなぐ活動を続けているほか、性と生殖に関する健康と権利の保障の立場から、性教育の促進に力を入れています。講演では若年層からの相談が多く、日常的に虐待を受けるなど複雑な事情を抱えている例あることから、さらなる行政の理解や協力が必要と述べられました。



## 1月中旬 仙台市コロナ感染者に対する 自宅療養者等応援パックが改善されました

### 自宅療養中のお食事について

◎組み合わせ例では、缶詰を半分で使用するものがあります。一度に食べきれない分は、密閉できる容器に入れるか、袋に入れかえラップをして、冷蔵庫で保存しましょう。



◎体調・体力の回復のために食事や栄養をとることが大切です。体調がすぐれない場合は、食べやすいもの、飲みやすいものを選んでとるようにしてください。また、具合が悪くなくても、水、お茶などで適宜、水分補給をしましょう。

お届けした食料品の中で、体調不良時にも比較的食べやすいもの

・おかゆ ・ドリンクゼリー ・野菜スープ ・みかん缶

・スポーツドリンク(糖分が多いので、平時はとり過ぎに注意しましょう)

◎食事は主食、主菜、副菜をそろえて食べることで栄養のバランスが良くなります。できる限り主食、主菜、副菜の組み合わせになるように食品を選びましょう。

※食品例にお届けしている食品で記載

### 主菜

魚・肉・卵・大豆製品など

たんぱく質を多く含む

※肉の缶詰 ※大豆缶詰

※レトルトカレー ※汁(糖分が多いので食べ過ぎに注意)

※野菜・海藻・きのこ類など

ビタミン・ミネラル・食物繊維を多く含む

※野菜スープ ※野菜ジュース

※ひじき缶 ※コーン缶 等

※ごはん・パン・麺類など

エネルギーのもとになる

※パックごはん

※レトルト粥

昨年の第1回定例会で、コロナ感染者が自宅で療養する場合の支援品について、食料品の必要カロリーの確保、栄養バランス面での改善や減塩について質しました。

その後、市の栄養士などが検討を重ね、予算も増額となった結果、今年1月中旬から豚汁などのスープ類やひじきや大豆、イワシの缶詰、マルチビタミンなど栄養バランスを考えたものや水や経口補水液も追加されるなど改善されました。支援物資を用いた組み合わせ献立の例や自宅療養中の食事アドバイス、食品の保存法、積極的な水分補給のため経口補水液の作り方なども同封されました。また、陽性の乳幼児(0~3歳児)がいるご家庭については、レトルトご飯等の食料品等をセットした自宅療養者等応援パック、または、おむつや粉ミルク等をセットにした乳幼児パックのいずれかを選べる仕組みもできました。

同封された食事等のアドバイス(抜粋)

## 1月25日 市政運営および来年度予算要望回答

昨年10月に提出した2022年度の要望の回答がありました。

「公契約条例の制定」については、国や政令市の動向を注視していく。公共工事においては、下請代金や賃金の適正な支払いを促しているとの回答でした。「文化芸術振興基本条例」の策定については、文化芸術振興のあり方を示すことは重要であると考えており、施策全般の方針を定めた計画等の策定に向けて検討を進めていくとの回答でした。「パートナーシップ宣誓制度」については、「男女共同参画せんだいプラン 2021」に盛り込んでいるところであり、本人方の意見なども幅広く伺いながら、対応を図ってまいります、でした。

青葉区の要望として宮町通から仙山線石巻街道踏切までの区画(L=1,050m)の自転車通行帯表示について、2022年度に工事を実施するとの回答も得ました。



宮城野区幸町側(手前)と同様に青葉区中江側から宮町まで自転車通行帯の表示がなされます。

お願い

「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたら併せてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。



# 皆さんの声を聴いて、市政へ！

2月8日

## ALPS処理水を安全だとするチラシを 児童生徒に配布しないよう求める緊急要請書



社民フォーラム市議団と共産党仙台市議団で「ALPS処理水を安全だとするチラシを児童生徒に配布しないよう求める緊急要請書」を市長

と教育長あてに提出、意見交換をしました。専門家の中でも安全性については意見が分かれている中、漁業協同組合や、宮城県議会などで海洋放出の撤回を求めているなど、ALPS処理水の放出に対して反対の声があがっています。そうした中、昨年12月経済産業省と復興庁が「安全な状態で処分される」などと紹介されるチラシを作成し、直接学校に送付していることから、子どもたちへの配布の見直しを求めました。

今年度改訂をし、小中高1年生向けの放射能副読本およびチラシに

については、教育委員会に情報はあったものの、国から直接各学校に送付されているものです。対応をした教育局の担当者は「持ち帰り検討をする」と述べるにとどまりました。

その後、宮城県議会においても4会派合同で知事に対し、同様の要請が行われています。

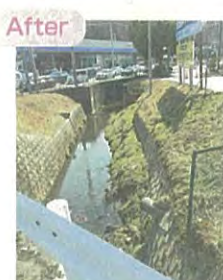


## ～1月中 地域の要望で改善されました

●中山3丁目の「うどう沼」のデッキが破損しているとのご指摘を受け、今年1月に改修されました。



●東勝山「源太兵衛川」川岸の草が繁茂しているのご指摘を受け、昨年11月に対応されました。



## ひぐちのりこ 主な活動日誌

- 1月24日 みやぎ女性議員のつどい総会&研修会
- 1月25日 会派2022年度 予算要望への回答
- 1月30日 「コロナ禍で可視化されたジェンダー不平等の現状と課題」学習会
- 2月1日 議会運営委員会
- 2月4日 議会ICT化推進検討委員会  
公務非正規で働く女性たちの現実セミナー

- 2月8日～3月14日 市議会第1回定例会
- 2月11日 シンポジウム 性的マイノリティと自殺防止対策  
仙台から貧困のない社会をつくる  
～SDGs「貧困をなくそう」研修会
- 2月16日 子育て環境充実調査特別委員会

### ●●● これからの主な予定 ●●●

- 4月2日 東北アライ議員ネットワーク会議
- 4月21日 健康福祉常任委員会
- 4月26日 子育て環境充実調査特別委員会  
「にんしんSOS仙台の現場から」仙台市議会研修会
- 5月17日 子育て環境充実調査特別委員会
- 5月21日 健康福祉常任委員会
- 5月28日 フェミニスト議員連盟総会

# 一般質問をしました (2月17日)



## 新型コロナウイルスによる 統計調査への影響について

公的統計についての重大性の認識を聞き、インフラ整備や子育てなど幅広い行政施策の基礎であり、民間企業等における経済活動の判断基準となるなど、社会全体にとって重要であると答えました。

コロナ禍で中止や変更となった統計調査について、**仙台市への影響についても質し、必要に応じ、関係部局と連携して代用データの活用を検討するなど、いずれも適切な対応に努めていく考えであると答弁しました。**

## 保育の質の向上と 地域拠点保育所の機能強化

仙台市は22カ所の公立保育所を「地域拠点保育所」とし、経験の浅い運営主体の相談や支援をすると位置づけているが、実態や今後の対応について質し、主に小規模保育施設等を対象にした巡回相談等を通じて、保育の質の向上に取り組んできた。今後は、**不審者対応訓練の実施等、防犯対策の機能強化を図ると答えました。**

保育所等の指導監査について国の研究会の報告書では、書面監査の実施も可能とされたことに関し、これまで通り現地検査での指導監査を求め、緊急

事態宣言期間等を除いては、**実地での監査を行ってきたところであり、引き続き、実地監査を基本とするとの答弁でした。**

**保育目標**  
保育目標は各保育所（園）の方針や目標に基づき、個性を生かして達成されるものです。  
ここでは公立保育所の保育目標を参考例として掲載します。  
“すこやかに今を生き かつよく未来を生きる子どもを育てる”  
～生きる力の基礎を培う～  
くめざす子ども像  
○ 人の気持ちがわかる子ども ○ 豊かに感じて表現する子ども  
○ 自分で考えて行動する子ども ○ 自分の体を大切にできる子ども  
○ 友達と力を合わせる子ども

仙台市立保育所の保育理念や保育内容について  
まとめた「仙台市の保育」一部抜粋

## 非正規女性労働者への支援

公務非正規女性労働者の9割以上が将来への不安を抱えていた調査結果の所見について、非正規雇用の方に共通の状況と認識しており、**男女間雇用格差の問題は未だ大きく、賃金などの待遇面をはじめとして様々な課題が残されている。関係機関と連携をしながら活用できる制度の周知や労働相談の実施など、働き方の違いによって不利益を被ることのないよう、努めていきたいと答えました。**

市長が所信表明で、生きづらさを抱えた女性や若者が安心できる環境を整え検討を進めると述べたが、**実効性のある取り組みを求め、新年度「(仮称)女性・若者活躍推進会議」を設置し、支援活動などを行う方々と意見交換を行うことで困難の実情やその背景を探り、必要な支援へとつなげていきたいと考えていると答えました。**

## 米の消費拡大に向けた 取り組み

ライフスタイルの多様化や糖質制限ダイエットによって糖質を敬遠することによる**米の消費低下がある中、国では一人当たりの米**



「とれたて仙台」  
仙台市公式ウェブサイト  
仙台の地産地消に関するタイムリーな情報を発信

の消費の減少傾向に歯止めをかけることが示されているが、**受け止めと取り組みについて聞きました。**

ごはんを中心に据えた和食は栄養バランスに優れ、健康面にメリットがある。**食品としての米の優位性を広く知らせ、消費拡大を図りながら、日本の食文化を次の世代へと継承していきたい。JA仙台と連携しての消費者向けの新米試食会等のイベント支援や、今年度より学校給食に提供する環境保全米の生産支援も開始した。また、災害による停電等に備え、鍋やカセットコンロ等を用いた米の炊飯手法や米の循環備蓄について、防災・減災アドバイザーによるテレビ・ラジオ出演の機会なども活用し浸透を図っていく。保育所や学校等でも米の消費拡大の視点からも望ましい食習慣を身につけられるよう取り組むと答えました。**

市議会  
ひぐち  
コラム

## 仙台防災未来フォーラム 2022

3月5日(土)、仙台市の主催による「仙台防災未来フォーラム2022」が仙台国際センターで開催されました。2016年から行われており、今年は過去最多となる企業や行政、NPOなどの92団体が参加。仙台防災絆組みのシンポジウムや非常時の水の確保、環境問題や耐震診断のブースやコミュニティにおける健康づくりなどのポスター展示、クイズラリーなど多彩なプログラムでした。最前線の現場で培った方々の取り組みはとても興味深いものでした。お子さん連れの来場者も多く、震災の教訓や経験が次世代の防災につながる機運を感じました。



太白消防署のブースで  
防火服の着用体験をしました

ホーム  
ページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐち  
ブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名  
#nohiguchi

Facebook

facebook ページ  
<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172